

Lila リラ

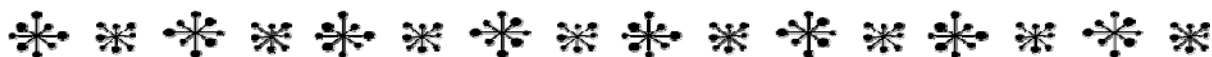
学生相談室だより

第48号 (2010年12月・冬号)

北星学園大学 北星学園大学短期大学部

学生相談センター 学生相談室

年末年始、何となくあわただしさがただよう毎日ですね。寒さが厳しくなっていますから、体調に注意をして過ごしましょう。



世代感覚

北星学園大学 経済学部 田村 信一

わたしはこの大学で教えて来年で30年になる。長いといえば長い、あっという間の出来事だといえそうも思える。30年は1つの世代が交代するスパンで、さすがに学生と教員の関係の変化を感じることも多くなってきた。

もっともわたしは元来世代論がそれほど好きではなく、マスコミなどで新人類だとかバブル以後の世代だとかのレッテルが出てくると、とても小さな違いを誇張して言い立てる「針小棒大」だと思ひ、「木を見て森を見ず」の感にとられる。「最近の学生は質問もしないでおとなしい」という意見があるが、明治時代に雇われ外国人として教えた教員の回想にもすでに同じ感想が出てくる。

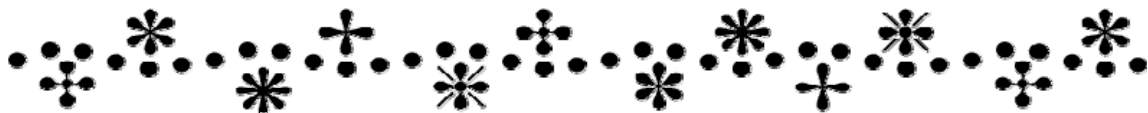
「最近の学生は無気力だ」という言葉は、実はわれわれ団塊の世代の後の世代に向けられた言葉で、「無気力・無感動・無関心」の「三無主義」あるいは「しらけ世代」だと非難されたのである。こうした言葉はわたしの高校生時代にすでにあつたように記憶している。われわれ団塊の世代はいわゆる「全共闘世代」で、「大学解体」や「自己否定」の問題提起を自慢する人もいたのだが、「全共闘運動」を詳細に描いた小熊英二の大著『1968』(上・下)を読むと、大学を封鎖して立てこもった学生たちは就職時期が迫ると変り身はやく封鎖を解除し、「企業戦士」となり、高度成長を支えた。著者の小熊はこの反乱を、飢えや戦争などの発展途上国型の不幸ではなく、アイデンティティ・クライシスや生のリアリティに悩む「現代的な不幸」に直面した最初の世代による「集団摩擦反応」だととらえている。その意味でわれわれ団塊の世代は現在の世代と地続きになっている。

しかし他方で当時と現在が異なっていることの1つは、大学進学率の違いである。団塊の世代の進学率は15%程度(これを超えると大学の大衆化)なのにたいして、現在は50%を超え(これでも先進国の中では低いほうである)、大学全入時代が近づいている。こうした世代にとって大学は小・中・高校の延長にすぎず、そこで当たり前前のが大学でも求められてくるにちがいない。最近感じることであるが、教室で配布した資料を欠席した学生が要求するので、研究室に取りに来てと言っても、なかなか研究室に来ないケースが増えたのではないだろうか。わたしのように年配の教員の研究室に行きたくない気持ちはわからなくはないが、自分のほうから動く学生は明らかに減少しているように思われる。大学教員の個別の研究室はなくならないだろうが、もっと近づきやすくする構造上の工夫は必要かもしれない。若い世代の教職員が学生の新しい傾向を察知して、大学運営に反映するような風通しの良さが求められているのではないだろうか。



趣味を持っていますか

あなたの趣味は何ですかと訊かれたら何と答えますか。読書、音楽、散歩というのがよく聞かれる一般的な答えですが。では、どんな本が好きですか、どのような音楽をよく聴きますか、と訊かれたら？もちろん、趣味はそんな風に人に答えるためのものではありません。自分自身が、日常の学校生活や仕事からちょっと離れて、楽しめるものですね。人と比べたり、やらなければならないものではなく、ちょっとほっとできたり、リラックスできたりするものです。学生時代にはサークルや部活で楽しんでいたことが後々趣味や特技として楽しめたりすることもあるかもしれません。そういう中で、趣味の集まりで新たな人間関係を築けることもあります。趣味や特技にあまりにものめりこんでしまうという危険性もありますが、漫画や絵、お風呂に入って本を読む、お料理、手品…等等、何でもあります。イライラするときに掃除をして、何も考えずきれいになるのが楽しいからと、掃除を趣味と言う人もいます。そんな風に気持ちが落ち込んでいるときなど、ちょっと気分転換をさせてくれるものでもありますね。私、僕、これをしている時がちょっと幸せと思えるものがあるといいですね。



学生相談室からのお知らせ

<開室時間>

月曜日から金曜日 9時から17時

月	火	水	木	金
近田白坂	近田安部	近田小林	近田安部	小林白坂

スタッフは2名体制

相談のある方は、直接相談室に来室してスタッフに声をかけてください。メールや直通電話で予約をすることもできます。相談の秘密は守ります。



編集後記

クリスマス、年末年始の行事、冬休み、試験、いろいろと忙しい行事が続くこの時期です。人ごみの中に入ることも多く、疲れもたまるともありません。体調や事故に気をつけて過ごしたいですね。(小)

これからの予定について

- * 12月28日(火)から1月5日(水)は年末年始休日のため閉室となります。
- * 2月10日(木)から3月30日(水)までは春休みのためスタッフは一人体制で、10時から17時までの開室となります(その他の予定は相談室前の掲示をご覧ください)。
- * 精神科医による心の健康相談は、12月9、16日、1月13、27日

〒004-8631

札幌市厚別区大谷地西2-3-1

北星学園大学 北星学園大学短期大学部
学生相談室

直通Tel 011-891-3929

Eメール: gakuseisoudan@hokusei.ac.jp